

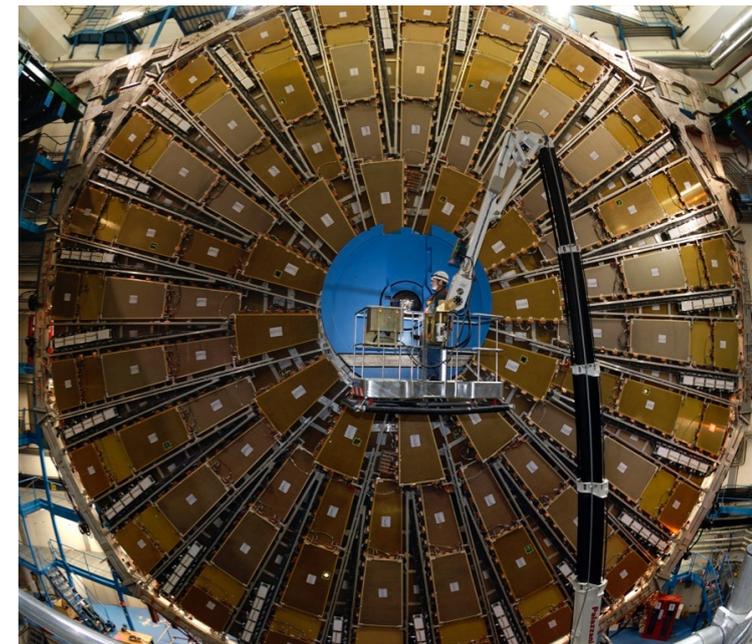


石野 雅也・素粒子センター（教授）

(masaya.ishino@cern.ch)

2000 ~ '08 : アトラス実験の μ 粒子トリガー

- 検出器・回路の製作・組み上げ
→ システムのテスト・試運転に没頭していた



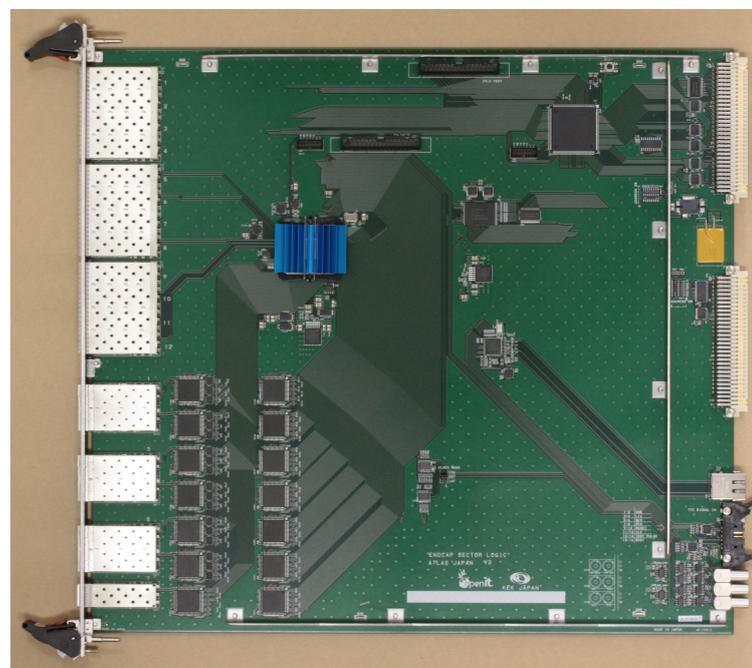
こんな複雑なシステムでも、**正しいデザイン**、**順を追って論理的に試験**、**全体の動きを把握できれば想定通り動くものなのだ ...** と

W崩壊から着た1発目の μ 粒子を捉えた時に実感した。

将来の高輝度LHCアップグレードに向けて、システムの改良が継続中

→ ハードウェアを自分で開発して、データを取る経験を一緒にしよう！

そしてこの業界を生き抜いていける実力（手に職）を身につけよう。



2012年・夏 ヒッグス粒子の発見

あると思ってはいたが、本当にあると知った時の感動は別モノだった。

でも **本当のお楽しみはこれから**、**次の「発見」は真に新しい知見**

- 相互作用の統一の姿
- 暗黒物質の正体
- ヒッグス質量の階層性問題が持つ不自然さを解消する自然な理屈
- TeVスケールの新粒子・あるいは標準模型の予言値からのズレ

やってみたい！ ピンと来た！
という人、一緒にトライしよう



新しい発見のための道具としてLHC加速器（=世界最高エネルギー）を使うという選択